

会員各位

2018年度 第2回(通算110回) 造粒分科会 技術討論会 開催のご案内

一般社団法人 日本粉体工業技術協会 造粒分科会		
コーディネーター	中央大学教授	村瀬 和典
副コーディネーター	首都大学東京大学院准教授	武井 孝
代表幹事	(株)ダルトン	桑原 敏之
担当幹事	(株)パウレック	内田 和宏
	(株)菊水製作所	伏見 伸介
	吉原伊知郎技術士事務所	吉原 伊知郎

テーマ：「PAT. リアルタイム・インライン計測を駆使した造粒システム」

造粒技術は数多くの分野において、その技術を支えています。当分科会では「粒を造り、粒を制御する」という観点から、粒や粒子の制御に関わる業界先端技術を討論の場に挙げることによって、参加された皆様が普段抱えている問題をブレークスルーするヒントとして頂きたいと活動しております。

今回は「PAT. リアルタイム・インライン計測を駆使した造粒システム」というテーマで、当該技術を支えるセンサーや分析技術、ノウハウ、事例等について、中央大学講義室をお借りして技術討論会を行います。是非、ご参加ください。

1. 日 時：2019年3月8日(金) 10:45～18:30 (受付開始 10:15～)

2. 会 場：中央大学 後楽園キャンパス (3号館3階3300講義室)

3. プログラム (予定)

(1) 開会挨拶・連絡事項 (10:45～10:55)

(2) 基調講演 (10:55～12:00)

「生産プロセスのモニタリングと制御 –PAT を中心に」

東京農工大学大学院 教授 山下善之 氏

生産プロセスの理解を深めるためにも、品質等を管理するためにも、リアルタイムかつインラインで様々なパラメータの値を継続的に把握することは極めて重要である。ここでは、PAT を中心に関連技術について概観する。

昼休み (12:00～12:45)：お弁当をご用意しています。

(3) 講演 1 (12:45～13:30)

「医薬品の連続生産における PAT の重要性と連続湿式造粒法への適用」

大日本住友製薬株式会社 技術研究本部 製剤研究所 村上貴之 氏

近年、医薬品の連続生産が非常に注目を集めているが、連続プロセスはバッチプロセスのようにロット全体を均一化する工程がないため、工程中の変動をモニタリングして適切に管理可能な PAT の適用が必須である。本講演では連続湿式造粒法への PAT 適用に着目し、PAT を用いた工程管理について考察したい。

(4) 講演 2 (13:30～14:15)

「ファーマ 4.0 の原則 QbD・PAT による医薬品製造のデジタルイゼーション」

東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 ソリューション事業本部 第1営業本部

宮澤由美子 氏

インダストリー4.0・ファーマ 4.0 では、継続的評価と管理を行い、リアルタイムに得られた情報に基づき工程が自己調整を行うシステムへの転換を求められている。QbD、PAT はファーマ 4.0 の原則である。本講演では、これまで積み重ねてきたノウハウを活用し、未来への展望を議論する。

休憩 (15分)

(5) 講演 3 (14:30~15:15)

「空間速度計測法を用いた「攪拌造粒の測定事例」及び「溶液中の粒子測定事例」の紹介」

スペクトリス株式会社 マルバーン事業部 佐藤文章 氏

粒度分布計 PARSUM を用いた攪拌造粒における粒子径をリアルタイムにモニタリングする事例と、湿式オプションを用いた強酸・強アルカリ、有機溶媒などの液中での粒子径測定の事例を紹介する。

(6) 講演 4 (15:15~16:00)

「流動層工程における重要工程パラメータ (CPP) 並びに重要品質特性 (CQA) の

多変量統計的解析アプローチ並びに統合システム構築例」

株式会社クオリティデザイン 佐藤貴哉 氏

本講演では、重要工程パラメータ (CPP: Critical Process Parameter) 並びに重要品質特性 (CQA: Critical Quality Attribute) の見える化手法を提案する。また各種 PAT ツール、多変量統計解析モデル、上位システムなどと連携可能な統合システム構築例も併せて挙げさせて頂く。

(7) 総合討論まとめ (16:00~16:45)

(8) 技術交流会 (17:00~18:30 閉会予定)

4. 定 員 : 50 名

5. 参 加 費 : 日本粉体工業技術協会会員 6,000 円、 非会員 9,000 円

6. 申込締切 : 2019 年 2 月 25 日(月) (定員になり次第締切りますので、お早目にお申込み下さい。)

7. 申込方法 : 次頁の参加申込書に記入いただき、下記事務局宛に FAX または e-mail にてお申込み下さい。

【申込先 : 造粒分科会事務局】

(株)ダルトン 経営企画部 高野桂

E-mail : k-takano-ao6d@dalton.co.jp

TEL : 03-3549-6613 FAX : 03-3549-6854

8. 参加費支払 : お申込受付後、受領書と一緒に請求書を e-mail にてお送り致します。

下記銀行口座へ 2019 年 2 月 28 日 (木) までにお振込み下さい。

【振込先口座】

三井住友銀行 飯田橋支店 普通口座 No.7140974

口座名 : 造粒分科会 (ゾウリュウブンカカイ)

※振込手数料は、貴社にてご負担願います。

※お振込いただいた参加費は返金できませんので、欠席の場合は代理の方のご参加をお願い致します。

以上

FAX : 03-3549-6854 / E-Mail : k-takano-ao6d@dalton.co.jp

(株) ダルトン 経営企画部 高野 宛

2018年度 第2回(通算110回)造粒分科会
技術討論会参加申込書

会社名			
(フリガナ) 氏名			
部署・役職			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail		会員種別	1.協会会員 2.非会員
入金予定日		交流会 出欠	1.出席 2.欠席
連絡欄*			

* 事務処理上領収書の発行が必要な方は、申込書連絡欄に「領収書要」と記入して下さい。当日会場受付にてお渡しします。

※ E-mail アドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。分科会開催のご案内のため、是非ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

※ 個人情報の取扱につきましては、当協会規定にもとづき分科会の運営及び管理にのみ使用致します。詳細につきましては、下記アドレスをご参照お願い致します。

個人情報の <http://www.appie.or.jp/privacy>